

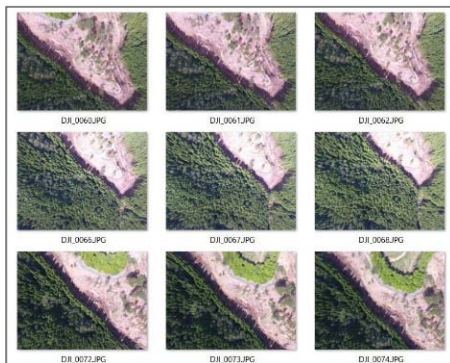
森林3次元システム Assist Z

概要

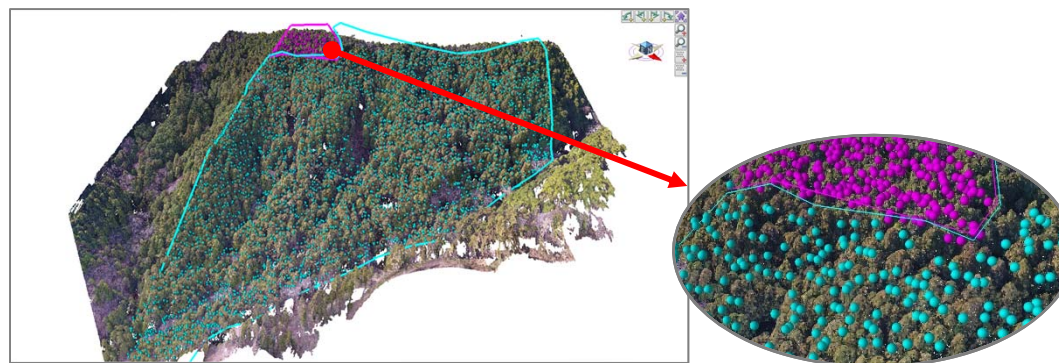
- 「資源量把握の効率化」と「需給情報の情報共有」を目的にシステムを開発。
- 現在、森林分野では林内の在庫管理(木材資源量の把握)ができていない。全ての木材資源量を正確に把握する事は容易でないため、標準的な調査(プロット調査)を行い、現場単位での大まかな木材資源量を確認している。しかし、現場での調査のため、時間と労力がかかっている。
- 多大なる時間および労力を必要とする現地調査に代わり、ドローンを用いて上空からデータを取得して、SfM (Structure from Motion)ソフトを用いて画像を解析。生成した点群データをAssist Zに取り込み、3次元化し、樹木本数や樹高・樹冠面積を推定する。
- 測量したデータを取り込むことができ、所有者別や施業別での森林資源量を把握することも可能。航空レーザー計測に比べ、コストは安く、成果までの解析時間も短い。また調査を行いたい箇所をスポットで解析することができるのもAssist Zの特徴である。

導入効果

- 調査範囲 3.5haの画地を全木調査を行うと約3日間に対し、ドローンでの計測は約20分と調査効率がUP。
- 所有者別や施業ごとなど、一つのデータで様々な資源量調査を行うことが可能である。
- 3次元データでの面積計算も可能となり、現地調査前のデータ収集が可能となった。



ドローンで取得した画像データ



生成した点群データをAssist Zに取り込み
樹木抽出



○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・通洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当する二一ズ

項目	林業(1)計画
技術二一ズ	資源管理
具体的な二一ズの内容	光学衛星画像、空中写真 UAV写真などを活用し、林相や森林資源量を容易に把握する技術

○開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

☎連絡先
株式会社ジツタ GIS事業部
TEL:089-931-7175
<https://www.jitsuta.co.jp/products@jitsuta.co.jp>

お問い合わせフォーム

